

1 2020年度版実施計画の概要

(1) 基本的な考え方

「平塚市総合計画～ひらつかNEXT～2020年度版実施計画」は、平塚市総合計画に位置付けた施策の推進を図るため、2020年度～2022年度（3か年）に本市が実施する事業を定めたものです。

(2) 前年度版実施計画の見直しについて

ア 前年度版実施計画事業の見直し状況

区 分	事業数
2020年度版実施計画に継続する事業	169
2020年度版実施計画に継続しない事業	1
他の実施計画事業に統合するもの	0
事務事業 [※] とするもの	0
事務事業 [※] と統合するもの	0
終了となるもの	1
廃止するもの	0
合 計	170

※事務事業
実施計画に位置付けずに行う事業

イ 2020年度版実施計画に継続しない事業

区 分	事業名	担当課	理 由
終了となるもの	こども発達支援室改修事業	こども家庭課	2019年度で整備が完了したため。

ウ 事業名を変更した事業（2事業）

事業内容の見直し等に伴い、次の事業の名称を変更しました。

分野別 施策	旧事業名	担当課	新事業名
1	オリンピック事前キャンプ誘致等推進事業	オリンピック・パラリンピック推進課	オリンピック・パラリンピック推進事業
2	防犯対策推進事業	危機管理課	防犯対策・治安向上推進事業

エ 新たに位置付けた事業（26事業）

分野別 施策	事業名	担当課	事業概要
1	放課後自主学習教室事業	教育指導課	児童の学習意欲の向上や家庭学習の習慣化を図るため、放課後に自主学習教室を実施します。
1	小学校情報教育推進事業	教育研究所	小学校パソコン教室の機器を充実させるとともに、通信ネットワークを活用し、情報教育の内容の向上を図ります。
1	中学校情報教育推進事業	教育研究所	中学校パソコン教室の機器を充実させるとともに、通信ネットワークを活用し、情報教育の内容の向上を図ります。
1	文化芸術ホール開館準備事業	文化・交流課	平塚文化芸術ホールの開館準備を行います。
1	各種スポーツ大会開催事業	スポーツ課	多様なスポーツの機会を提供するため、市内駅伝競走大会や少年少女大会などの各種大会等を開催します。
1	ねんりんピックかながわ 2021 開催事業	スポーツ課	ねんりんピックかながわ 2021 において、スポーツウエルネス吹矢や囲碁大会の開催、健康や福祉に関する多彩なイベントを実施する準備を進めます。
2	発達支援コーディネーター育成事業	保育課 こども家庭課	公立保育園及び認定こども園に、専門的な知識を持った発達支援コーディネーターを育成・配置し、配慮が必要な子ども及び保護者に対するきめ細かな支援を行います。また、民間園の発達支援コーディネーター育成に向けて、民間園の運営法人と連携・協議を図っていきます。
2	子どもの未来支援事業	こども家庭課	次世代を担う子供の貧困状態を解消するため、複合的課題への取組の強化と地域住民の主体的な取組への協力を図っていきます。
2	地域医療福祉拠点整備モデル地区構想推進事業	高齢福祉課	平塚高村団地及びその周辺地域において、①誰もが集える「ふれあい」と「にぎわい」の創出、②高齢者も障がい者も安心して暮らせる地域づくり、③若者・子育て世代にうれしいまちの3つの方向性から様々な事業を実施します。
2	生きがい事業団助成事業	高齢福祉課	高齢者の豊かな経験と知識を社会に役立て、就業することで高齢者自身の生きがいを見出すため、「生きがい事業団」を支援します。
2	高齢者権利擁護推進事業	高齢福祉課	高齢者の相談支援体制の充実を図るとともに、虐待防止をはじめとした権利擁護を推進します。
2	障がい者権利擁護推進事業	障がい福祉課	障がい者が地域の中で主体的に生活し、自己実現を図ることができるよう、虐待防止をはじめとした権利擁護を推進します。
2	社会参加・交流促進事業	障がい福祉課	障がい者が市民とともに行うスポーツ・レクリエーション活動、団体活動等の事業実施や運営を支援します。
2	災害対策本部対応力強化事業	災害対策課	災害対策本部各部班の対応力向上を目的とした外部有識者による訓練を充実するとともに、被災者の生活再建を支援するため、被災者台帳システムを導入し、申請や相談に迅速に対応する体制を整えます。

分野別 施策	事業名	担当課	事業概要
2	交通安全対策指導事業	交通政策課	交通事故防止のため、市内各地域においては児童生徒を対象とし、また、平塚駅周辺においては自転車利用者へ、交通安全の確保及び指導を実施します。
3	生物多様性保全推進事業	環境保全課	生物多様性の保全に取り組む市民活動団体や企業等と協働し、保全活動の推進を図ります。
3	食品ロス削減・フードバンク活動支援事業	環境政策課	食品ロス削減の問題に取り組むため、市民団体と協働でマッチングシステムの構築を行います。
3	可燃ごみ戸別収集導入検討事業	環境政策課 収集業務課	家庭系可燃ごみの戸別収集を市内全域に導入していく場合の影響や効果等を把握するため、モデル地区での社会実験を実施します。
3	空家等対策推進事業	まちづくり政策課	空家等に関する対策を総合的かつ計画的に実施するため、空家等対策計画に基づき、空家等の発生抑制、適正管理及び利活用の促進に取り組みます。
3	動物愛護推進事業	環境保全課	人と動物が共生する社会の実現を図るため、関係機関と連携し、犬や猫などの適正飼育や動物愛護の啓発を行います。また、市民団体と協力し、地域猫活動の取組を促進します。
3	湘南海岸公園龍城ヶ丘ゾーン整備・管理運営事業	みどり公園・水辺課	龍城ヶ丘プール跡地及びその東西のエリアについて、Park-PFI 手法（官民連携事業）等によって、海辺の総合公園を整備します。
3	高麗山公園（湘南平）魅力アップ事業	みどり公園・水辺課	高麗山公園（湘南平）について、樹木整理による眺望の確保や、再整備に向けた公園の方向性、整備手法等について整理・検討します。
4	中小企業金融支援事業	産業振興課	中小企業の経営の安定等を図るため、事業資金の融資のほか、信用保証料及び利子に対する補助を行います。
4	知的対流推進事業	産業振興課	波力発電の実証事業や産業間連携等をモデルケースとして形式知化し、企業や学術機関等にPRします。
4	着地型観光推進事業	商業観光課	地域資源を活用した新たな体験プログラムの実施及びこれを通じた平塚の魅力を情報発信します。
4	競輪場活用推進事業	事業課	市民に開かれた親しみやすい競輪場を目指すため、開催に合わせて幅広い世代に足を運んでもらえるイベントを開催するとともに、開催以外の期間については、庁内外の関係課・関係団体などに対して、競輪場を活用したイベント開催を促します。

(3) 2020年度版実施計画の分野別施策ごとの事業数及び計画事業費について

単位：千円

分野別施策	事業数	会計区分	2020年度	2021年度	2022年度	計
1	59	一般会計	3,429,881	4,502,460	2,970,621	10,902,962
		特別会計・ 公営企業会計	0	0	0	0
		計	3,429,881	4,502,460	2,970,621	10,902,962
2	66	一般会計	9,343,504	8,362,264	7,555,404	25,261,172
		特別会計・ 公営企業会計	1,862,348	1,798,260	1,793,260	5,453,868
		計	11,205,852	10,160,524	9,348,664	30,715,040
3	33	一般会計	646,365	718,906	1,692,446	3,057,717
		特別会計・ 公営企業会計	727,473	1,157,000	1,236,000	3,120,473
		計	1,373,838	1,875,906	2,928,446	6,178,190
4	37	一般会計	4,996,037	6,727,750	2,523,137	14,246,924
		特別会計・ 公営企業会計	1,504,345	1,480,201	1,374,300	4,358,846
		計	6,500,382	8,207,951	3,897,437	18,605,770
合計	195	一般会計	18,415,787	20,311,380	14,741,608	53,468,775
		特別会計・ 公営企業会計	4,094,166	4,435,461	4,403,560	12,933,187
		計	22,509,953	24,746,841	19,145,168	66,401,962

(注1) 2020年度計画事業費は、当初予算額を基本としています。

(注2) 2021年度、2022年度の計画事業費は、一部未定の事業もあるため参考値となります。

(4) 財政見通しについて

財政見通しは、今後の経済動向や国による地方財政計画、さらには経済政策により大きな影響を受ける場合があることから、当面の一定条件に基づいて試算しています。計画期間中の財政見通しは次のとおりです。

・歳入

歳入の根幹である市税については、社会経済情勢や地方税制改正などを考慮して算出しました。また、投資的経費や扶助費等の財源となる国県支出金及び建設事業や財源対策のための市債については、計画期間中の事業費や扶助費の推移により推計しました。その他の歳入については、過去の実績などを基に推計しました。

・歳出

実施計画事業費については、2020年度の積算単価などを考慮して算出しました。

実施計画外事業費については、少子高齢化が引き続き進展することから、扶助費の増加などが見込まれ、将来の状況をできる限りの確に見据えた中で推計しました。また、物件費などその他の経費は、過去の推移を見込んで推計しました。

❖ 財政収支の見通し（2020年度～2022年度）

単位：百万円

区 分		2020年度	2021年度	2022年度	
歳入		87,520	89,629	89,609	
自主財源	自主財源	51,791	51,753	52,041	
	市 税	43,039	42,592	43,697	
	その他	8,752	9,161	8,344	
	依存財源		35,729	37,876	37,568
	国県支出金	21,576	21,983	22,933	
	市 債	6,380	7,262	6,429	
地方譲与税等		7,773	8,631	8,206	
歳出		87,520	89,629	89,609	
義務的経費		47,501	47,843	48,497	
実施計画事業費		18,416	20,311	14,742	
その他		21,603	21,475	26,370	

(注1) この推計は、2020年1月時点で推計したものです。

(注2) 財政収支の見通しは、一般会計の当初予算額を基準とした推計です。

(注3) 財政支出の見通しの金額は、財源対策を講じた後の推計値です。

(注4) 義務的経費は、人件費や扶助費、公債費の合計です。

(注5) 歳出のその他は、繰出金や積立金などの合計です。

(注6) 実施計画事業で未定のもの、除いています。

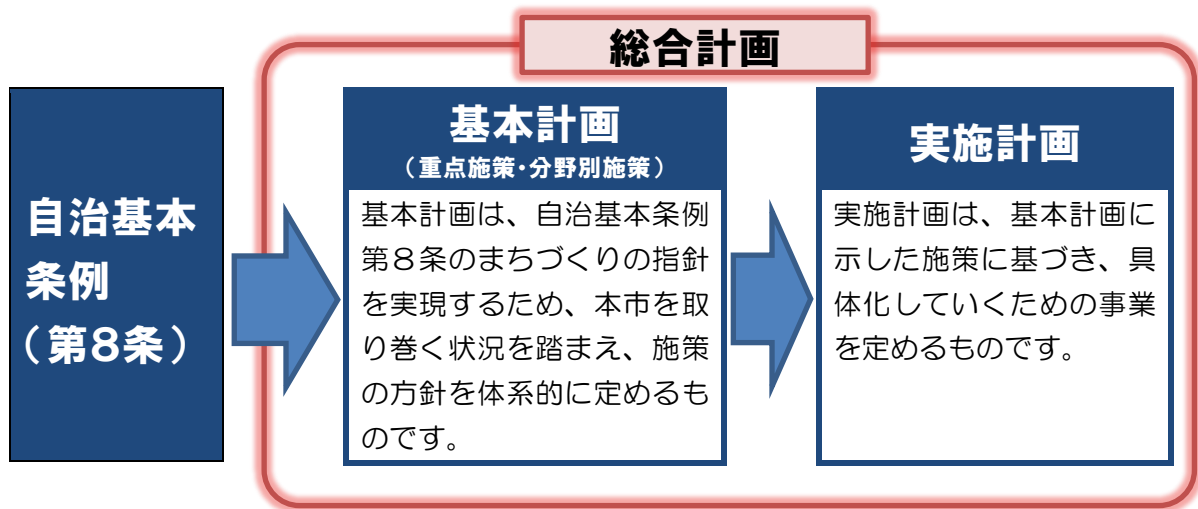
2 実施計画について

(1) 実施計画の位置付け・計画期間について

平塚市総合計画は平塚市自治基本条例第19条を策定根拠とし、同第8条に定めた「まちづくりの指針」の実現に向けて取り組むものです。総合計画は『基本計画』－『実施計画』の2層の構成としており、実施計画は基本計画に示した施策を具体化する事業を定めたものです。

なお、社会経済情勢の変化や市民ニーズの多様化に迅速に対応するため、行政評価の結果を踏まえた見直しを毎年度行うこととし、計画期間は向こう3か年を見据えたものとしています。

❖ 実施計画の位置付け



❖ まちづくりの指針

平塚市自治基本条例第8条に定める「まちづくりの指針」は次の5つです。

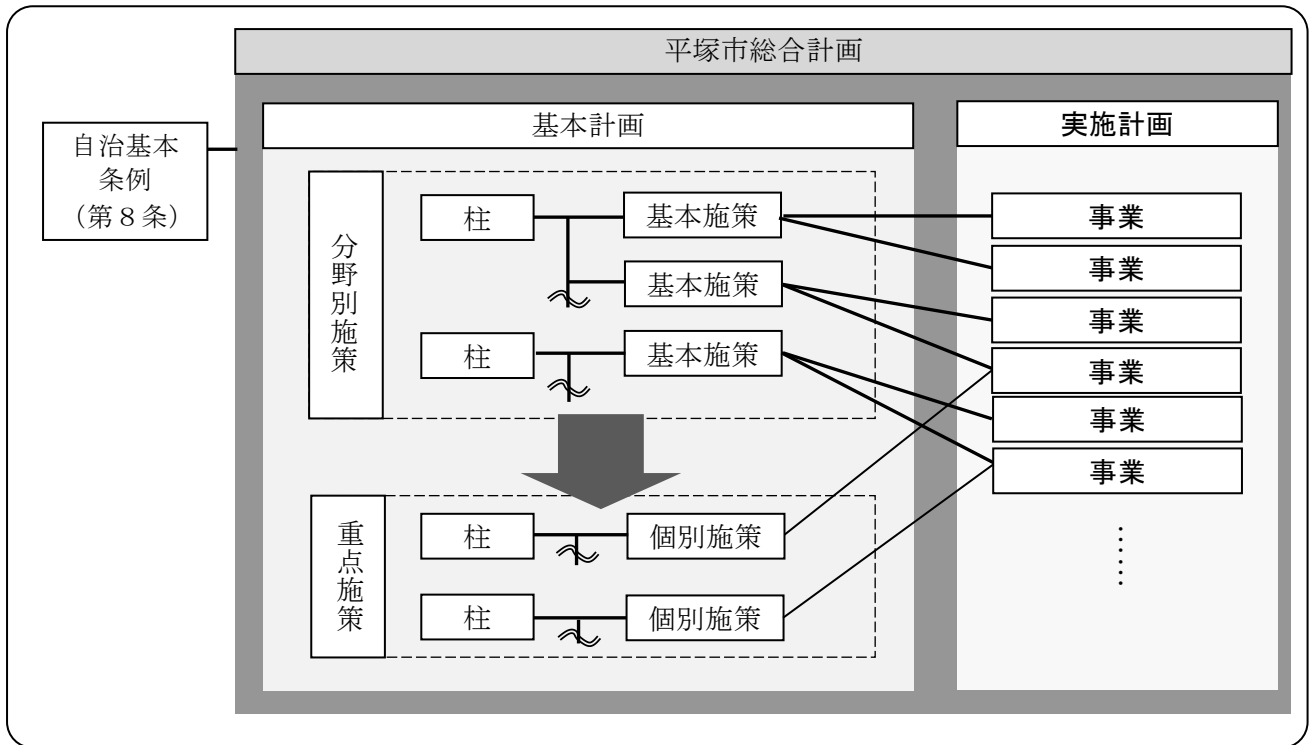
平塚市自治基本条例

<まちづくりの指針>

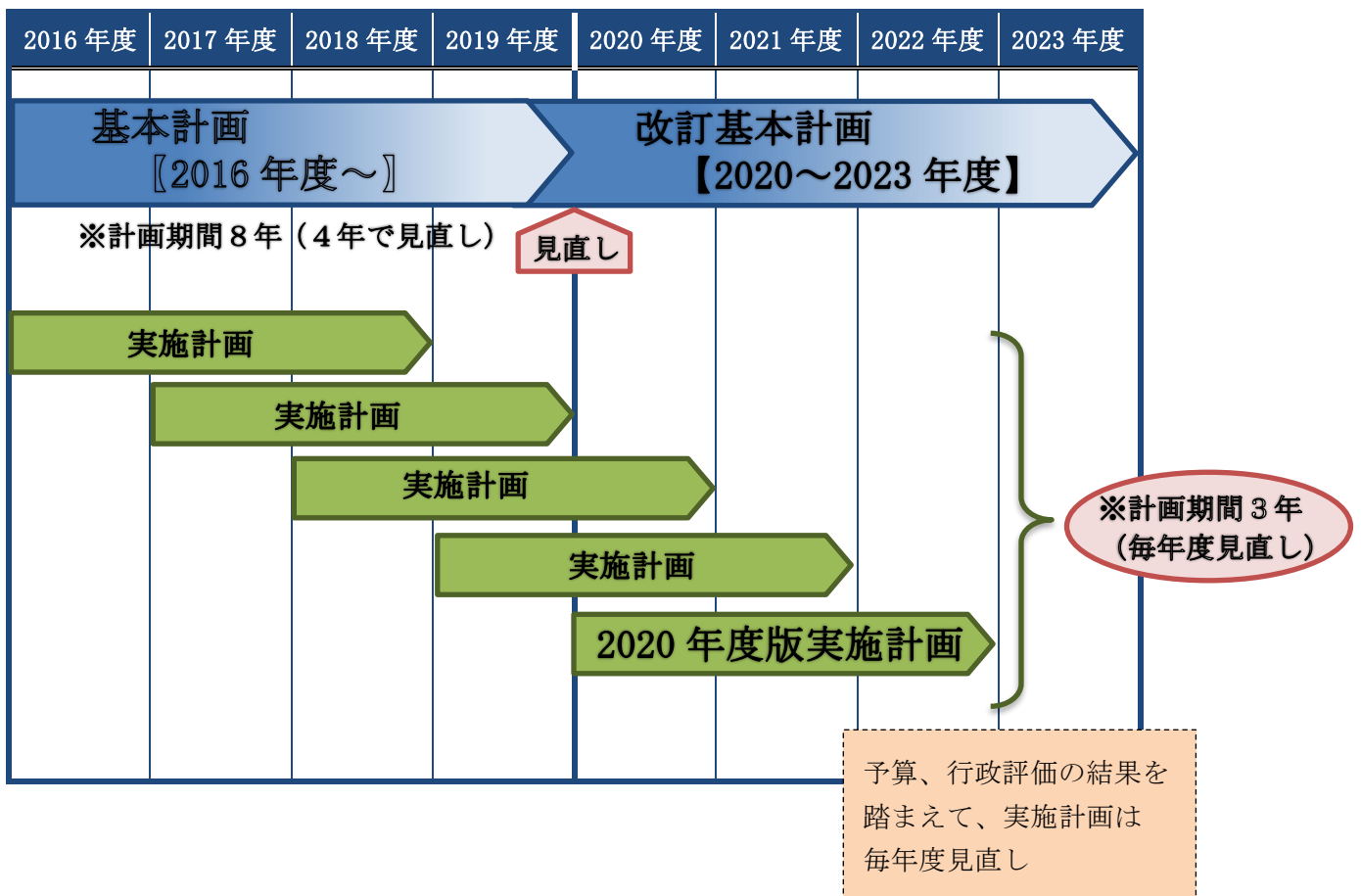
第8条 市は、次に掲げる指針により、市民が幸せに暮らすまちを目指します。

- (1) 世界の人々と相互理解を深め、多様な文化が共生し、人々が平和に共存するまちにします。
- (2) 豊かな人間性と文化をはぐくみ、基本的人権を擁護するまちにします。
- (3) 互いに支え合い、誰もが安心して、安全に暮らすまちにします。
- (4) 自然環境と都市基盤が調和し、自然と人が共生するまちにします。
- (5) 産業を培い、活力とにぎわいのあるまちにします。

❖位置付けイメージ

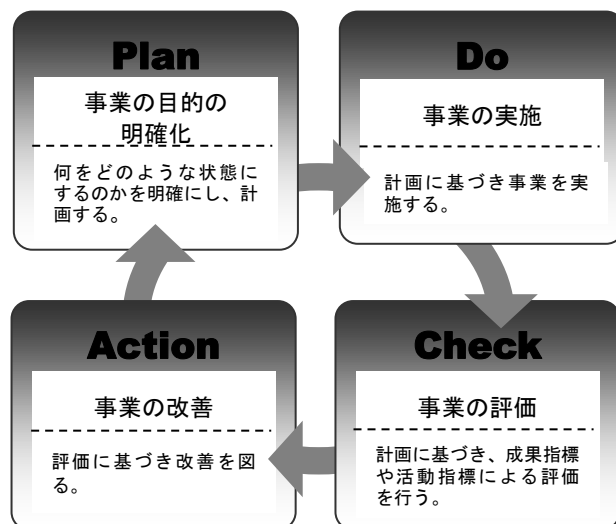


❖計画期間



(2) 実施計画の進行管理について

実施計画事業の着実な展開を図るとともに、市民に対する説明責任を果たすため、行政評価を実施し、指標による評価や課題分析などを行い、効率的・効果的な進行管理を行います。



(3) 実施計画事業の見方について

※総合計画の基本計画は「重点施策」と「分野別施策」の大きく2つに分けられ、それぞれに位置付く事業（取組）が異なります。これに伴い、実施計画書もそれぞれ異なる体裁となっています。

❖重点施策事業

重点施策の計画内容について、施策体系順に掲載しています。

IV

重点施策Ⅳ：安心・安全に暮らせるまちづくり

(3) 交通安全対策を推進する

■基本的な方向性（改訂基本計画から転載）
 事故から身を守ることができるよう、交通ルールの遵守や自転車マナーの向上を図り、市民の交通安全意識を高めるとともに、日常の移動手段として多くの人に利用されている自転車の安全な走行環境をつくります。また、誰もが移動の安全と快適性を享受できるように、バリアフリーを推進します。

■重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指標(KPI)	実績値		目標値
	2014	2018	2023
交通安全教室の開催数【年間】	200件	224件	230件
平塚駅3km圏の自転車ネットワーク整備率【累計】	3%	24%	70%

■施策推進のための取組

具体的な取組	2020年度	2021年度	2022年度	関連事業名
交通安全対策の推進	交通安全教室、各種キャンペーン、高齢者交通安全家庭訪問事業の実施			交通安全啓発推進事業【交通政策課】
	●市内各地域や平塚駅周辺における交通安全の確保及び指導			交通安全対策指導事業【交通政策課】
自転車を利用しやすい環境づくり	自転車通行帯の整備			自転車通行帯整備事業【道路整備課、交通政策課】
バリアフリーの推進	●基本構想に基づくバリアフリーの推進			バリアフリー促進事業【交通政策課】
	●「心のバリアフリー」の推進			社会参加・交流促進事業【障がい福祉課】

●：2020年度から新たに位置付けた取組

■計画事業費（参考）

具体的な取組	2020年度	2021年度	2022年度
交通安全対策の推進	18,893千円	18,893千円	18,893千円
自転車を利用しやすい環境づくり	23,100千円	23,100千円	23,100千円
バリアフリーの推進	17,940千円	6,480千円	6,480千円
合計	59,933千円	48,473千円	48,473千円

※注：事業費の合計について、一つの事業が複数の「具体的な取組」に該当する場合があるため、「具体的な取組」の事業費合計は、各個別事業の事業費を積み上げた合計金額と異なります。

重点施策中の個別施策を表しています。

個別施策の基本的な方向性及び重要業績評価指標(KPI)を表しています。なお、平塚市総合計画～ひらつかNEXT～は2016年度を始期としていますが、各指標は、計画策定時の実績値（主に2014年度）を採用しています。

施策を推進するための具体的な取組を表しています。

上記の取組を含む関連事業の計画事業費を表しています。(※)

※計画事業費における表記説明

- 「0千円」…事業費を要しない事業
- 「－」…事業費の抽出が困難な事業
- 「\」…実施する内容がない事業
- 「未定」…2020年度版実施計画策定段階で、算定が困難な事業

❖ 分野別施策事業

分野別施策の計画内容について、施策体系順に掲載しています。

基本施策

1-③

生涯学習や文化芸術活動の環境を充実する

関係部：市民部、社会教育部

成果指標

	実績値 (2014)	実績値 (2018)	目標値 (2023)
各種講座・講演会への参加者数 (年間)	48,314 人	46,836 人	49,400 人
博物館・美術館の特別展の観覧者数 (年間)	133,008 人	198,813 人	142,300 人

■ 取組方針 (改訂基本計画から転載)

- ▶ 学習情報の提供や発表の場の充実、地域における人材発掘や育成・活用などにより、様々な学習活動を支援するとともに誰もが学習できる機会を充実します。
- ▶ 音楽・演劇・美術など文化芸術活動に関する情報を幅広く発信し、優れた文化芸術を鑑賞する機会や実践する機会を充実します。
- ▶ 地域の特色ある文化・芸術・歴史資源の掘り起こしや見直しを行い、囲碁をはじめ、それらを活用した魅力あるまちづくりを市民とともに展開します。
- ▶ 郷土意識を啓発・醸成するため、地域の歴史や文化財の保存・周知を図ります。また、郷土芸能の継承・保存やイベントの開催、後継者の育成などの取組を進めます。
- ▶ 市民の生涯学習や文化芸術活動の場の安全確保のため、計画的に施設の維持保全や整備を進めます。また、平塚文化芸術ホールは2022年春の供用開始に向けて整備を進めます。

■ 事業計画

事業名	地域の人材発掘・活用事業		担当課	中央公民館
事業概要	生涯学習活動の推進のため、地域における人材の発掘・登録とボランティアを育成・活用します。			
	2020年度	2021年度	2022年度	
計画事業費	0千円	0千円	0千円	
事業内容	指導者登録名簿作成やボランティアの育成・活用			

事業名	多様な学習推進事業		担当課	中央公民館
事業概要	生涯学習を推進するため、公民館において学習情報等の提供をするとともに、児童・生徒やシニア向け事業、家庭教育学級の充実を図るほか、地域課題、現代的課題等に取り組む内容の講座を実施します。			
	2020年度	2021年度	2022年度	
計画事業費	5,385千円	5,385千円	5,385千円	
事業内容	児童・生徒やシニア向け事業をはじめとする各種講座等の開催			

事業名	魅力ある美術展覧会事業		担当課	美術館
事業概要	多様な年齢層が国内外の優れた近現代美術作品に接する機会を充実するため、テーマを設定した企画展と所蔵品を活用した特集展を開催します。			
	2020年度	2021年度	2022年度	
計画事業費	47,202千円	47,202千円	47,202千円	
事業内容	企画展、特集展の開催			

※ 計画事業費における表記説明

「0千円」…事業費を要しない事業

「—」…事業費の抽出が困難な事業

「\」…実施する内容がない事業

「未定」…2020年度版実施計画策定段階で、算定が困難な事業

事業に関連する施策及び部局を表しています。

基本施策において設定された成果指標を表しています。
 なお、平塚市総合計画～ひらつか NEXT～は2016年度を始期としていますが、各指標は、計画策定時の実績値(主に2014年度)を採用しています。

基本施策の取組方針を表しています(総合計画の改訂基本計画から転載)。

【計画事業費】

各年度に実施する事業内容に要する事業費を表しています。
 (※)

【事業内容】

各年度に実施する事業内容を表しています。複数年にわたり事業内容が継続する場合は罫線で区切らず表しています。実施する事業がない場合は「\」で表しています。